

大阪府生物多様性地域戦略に基づく 取組状況について

2026年3月23日
みどり企画課

モニタリング指標

モニタリング指標の結果

府民の意識は低下傾向

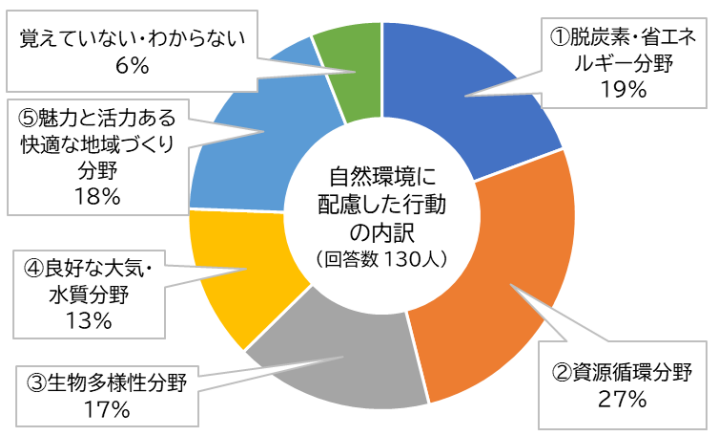
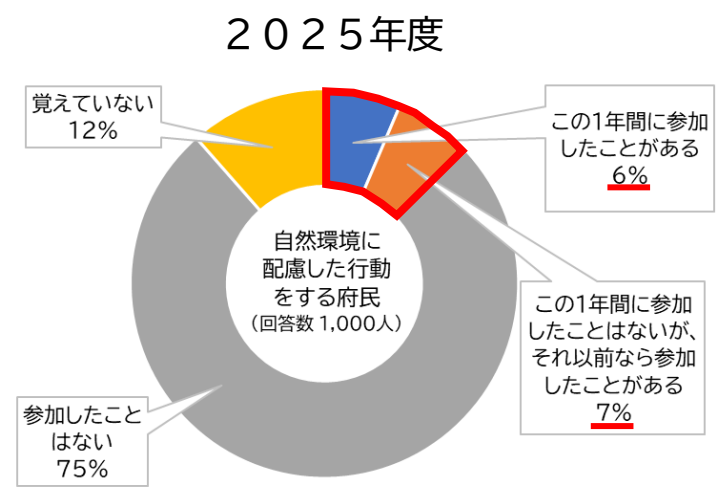
その他の指標はほぼ変化なし

	2020年度	2025年度
自然環境に配慮した行動をする府民の割合	18.6%	13.0%
連携した取組みを行う事業者・団体数	299 事業者・団体	309 事業者・団体
府内で確認された特定外来生物のうち必要な対策がなされた割合	28.1%	28.6%
法令等に基づく地域指定の割合	24.6%	24.6%

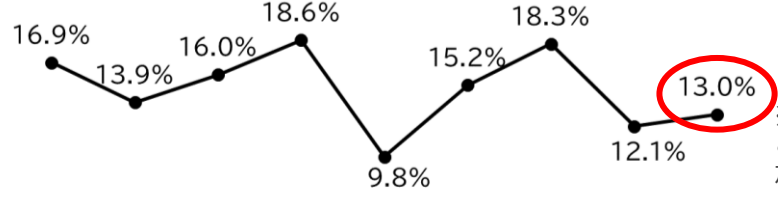
1. 自然環境に配慮した行動をする府民の割合

2020年度 18.6%
 2025年度 13.0%

【質問】あなたは、この1年間に、各分野の例のような「地域における環境保全のための取組み」のいずれかについて、一つでも参加したことがありますか。なお、この質問において「取組み」とは、環境やその問題に対する地域ぐるみの活動をいいます。また、「地域」とは自治会やPTAなどの活動が行われる身近な範囲だけでなく、NPOやボランティア団体などの活動が行われる、より広い範囲も対象となります。
 〔出展：おおさかQネット（大阪府政策マーケティング・リサーチ）〕



自然環境に配慮した行動をする府民の割合の経年変化



※値は、「この1年間に参加したことがある」と「この1年間に参加したことはないが、それ以前なら参加したことがある」の合計

2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年 2025年

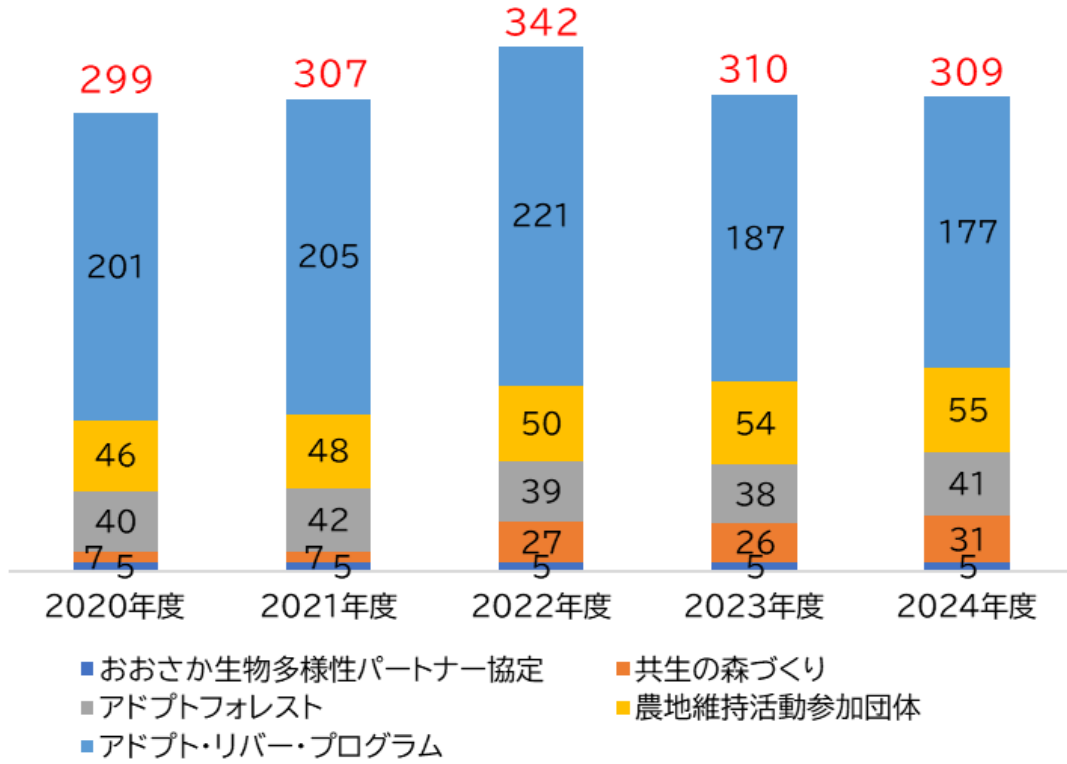
分野	地域における環境保全のための取組みの具体例
①脱炭素・省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 共同施設や公共施設などにおける省エネ・節電活動 カーシェアリング（※1）やエコドライブ（※2）の促進活動
②資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 日用品のリユース（再利用）やリサイクル活動 子ども会などによる古紙やプラスチックなどの資源ごみ収集活動 グリーン購入運動（※3）への参加
③生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 動物・昆虫・植物の保護、生息・生育環境の保全や創出活動、外来種対策（※4） 庭や地域の公共空間など身近な場所で、植物を育てみどりを増やすなどの緑化活動 森づくり（間伐、植樹、雑木林の手入れ）、池や川などの水辺保全（藻やヨシ刈等）の活動 生きものに配慮したマーク付商品（レインフォレスト・アライアンスやFSC森林認証等）の選択
④良好な大気・水質	<ul style="list-style-type: none"> カーシェアリング、グリーン購入運動への参加 エコドライブの促進活動への参加 川・湖・大阪湾の水質をきれいにするキャンペーンへの参加
⑤魅力と活力ある快適な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 川、砂浜、水路、池、道路、公園の掃除 公園や学校などの緑化活動 地域で良好な環境づくりの計画や取組方針の策定のための活動

※1 「カーシェアリング」とは、登録した複数の会員が自動車を共同利用するシステムのことをいいます。
 ※2 「エコドライブ」とは、おだやかなアクセル操作をしたり、アイドリングの抑制、自動車に不要なものを積まないなど、環境に優しい運動のことをいいます。
 ※3 「グリーン購入運動」とは、製品やサービスを購入する際に、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する消費活動に関する運動のことをいいます。
 ※4 「外来種」とは、もともとの地域にはいなかったが、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことをいいます。外来種対策として、生態系等への悪影響を及ぼすかもしれない外来生物を「国内に入れないこと、野外に捨てないこと、生息区域を拡げないこと」の三原則等があります。

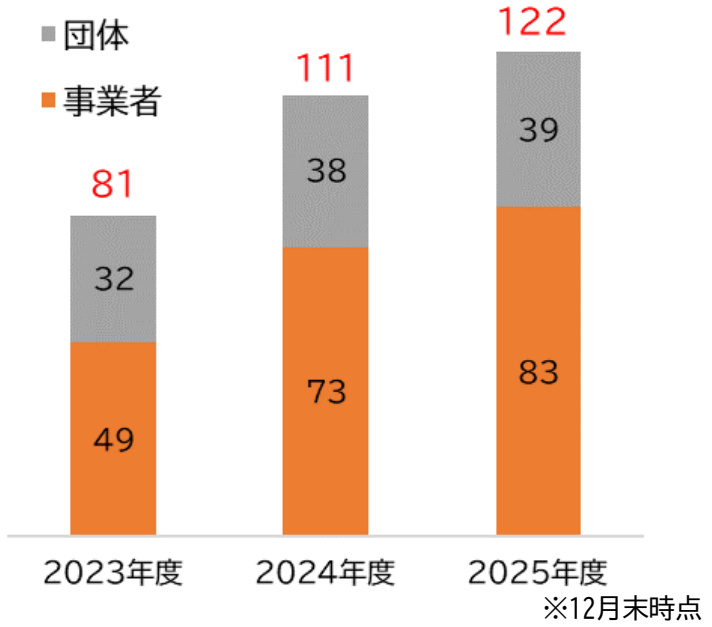
2. 連携した取組を行う事業者・団体数

2020年度 299団体
 2025年度 309団体

連携した取組を行う事業者・団体数（団体）



【参考】
 おおさか生物多様性応援宣言
 登録事業者・団体数（団体）



3. 府内で確認された特定外来生物のうち必要な対策がなされた割合



番号	種名	分類	対策状況					
			2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1	アライグマ	哺乳類	○	○	○	○	○	○
2	ヌートリア	哺乳類	○	○	○	○	○	○
3	クリハラリス	哺乳類	×	×	×	×	×	×
4	ソウシチョウ	鳥類	×	×	×	×	×	×
5	カミツキガメ	爬虫類	×	×	×	×	×	×
6	ウシガエル	爬虫類	×	×	×	×	×	×
7	チャンネルキャットフィッシュ	魚類	×	×	×	×	×	×
8	コクチバス	魚類	×	×	×	×	×	×
9	オオクチバス	魚類	○	○	○	○	○	○
10	ブルーギル	魚類	○	○	○	○	○	○
11	アリゲーターガー	魚類	×	×	×	×	×	×
12	カダヤシ	魚類	×	×	×	×	×	×
13	クビアカツヤカミキリ	昆虫類	○	○	○	○	○	○
14	ハヤトゲフシアリ	昆虫類	×	×	×	×	×	×
15	アルゼンチンアリ	昆虫類	×	×	×	○	○	○
16	アカカミアリ	昆虫類	○	○	○	○	○	○
17	ヒアリ	昆虫類	○	○	○	○	○	○
18	セアカゴケグモ	クモ類	○	○	○	○	○	○
19	ハイイロゴケグモ	クモ類	○	○	○	○	○	○
20	カワヒバリガイ	貝類	×	×	×	×	×	×
21	アゾラ・クリスタータ	植物	×	×	×	×	×	×
22	ナガエツルノゲイトウ	植物	×	×	×	×	×	×
23	ミズヒマワリ	植物	×	×	×	×	×	×
24	オオフサモ	植物	×	×	×	×	×	×
25	エフクレタヌキモ	植物	×	×	×	×	×	×
26	アレチウリ	植物	×	×	×	×	×	×
27	オオキンケイギク	植物	×	×	×	×	×	×
28	オオハンゴンソウ	植物	×	×	×	×	×	×
29	ナルトサワギク	植物	×	×	×	×	×	×
30	オオバナミズキンバイ	植物	×	×	×	×	×	×
31	オオカワヂシャ	植物	×	×	×	×	×	×
32	ボタンウキクサ	植物	×	×	×	×	×	×
33	ミシシippアカミミガメ	爬虫類	-	-	-	×	×	×
34	アメリカザリガニ	甲殻類	-	-	-	×	×	×
35	外来オオサンショウウオ	両生類	-	-	-	-	-	×
	対策種数		9	9	9	10	10	10
	対象種数		32	32	32	34	34	35
	対策種の割合		28.1%	28.1%	28.1%	29.4%	29.4%	28.6%

4. 法令等に基づく地域指定の割合

2020年度 24.6% (46,930ha) → 2025年度 24.6% (46,942ha)

※国基準の保護地域とOECMの面積割合
13.96%

■地域指定の内容

- ①保安林(国基準外) 17,569ha (9.22%)
- ②近郊緑地保全区域(国基準外) 33,580ha (17.62%)
- 保護地域(国基準) + ① + ② 46,942ha (24.6%)

■保護地域(国基準)の内訳

- 国立公園 4ha
- 国定公園 16,357ha
- 府立自然公園 3,486ha
- 自然環境保全地域(府指定) 35ha
- 自然海浜保全地域 2ha
- 鳥獣保護区(府指定) 13,282ha
- 特別緑地保全地区 17ha
- 天然記念物(国指定) 463ha
- その他保護地域(府指定) 25ha

※ 国立公園は海域(岬町沖)。
 ※ その他保護地域(府指定)は、緑地環境保全地域。
 ※ 面積は、環境省GISデータを引用。

■保護地域(国基準)とOECMの面積

- 保護地域 26,256ha (13.78%)
- OECM(自然共生サイト) 343ha (0.18%)
- 合計 26,599ha (13.96%)

※ 面積は、環境省GISデータより引用。海域を含む。
 ※ OECMの面積は、保護地域との重複を除く。
 ※ 大阪府の面積は、190,534ha。

【凡例】

- 自然共生サイト
- 保護地域
- ▨ 自然公園
- ▩ 鳥獣保護区

自然共生サイト

id	名称
1	新梅田シティ 新・里山
2	新ダイビル堂島の社
3	関西国際空港島 人口護岸 藻場サイト
4	阪南セブンの海の森
5	ドコモ泉南堀河の森
6	多奈川ピオトープ
7	大阪梅田ツインタワーズ・サウス
8	堺第7-3区 共生の森
9	おおさか環農水研 生物多様性センター
10	大阪ガス株式会社 泉北造成所
11	おおさか環農水研 本部・環境と食農の技術センター
12	三草山ゼフィルスの森
13	The Day Osaka
14	紫金山公園・吉志部神社
15	本山寺モミ・ツガ・アカガシ林
16	大阪府営山田地公園
17	鉢伏山
18	大阪府営石川河川公園自然ゾーン
19	島本ヒメボタル・カヤネズミ保全地
20	銀寄栗のふるさと

保護地域(自然公園、鳥獣保護区以外)

- 自然環境保全地域
- 特別緑地保全地区
- 自然海浜保全地区
- 緑地環境保全地域

1 長松	1 三草山	1 本山寺	1 今米
2 小島	2 地黄湿地	2 妙見山	2 男神社
	3 豊能町木代地区	3 若山神社	3 加賀屋
		4 美具久留御魂神社	4 春日町ヒメボタル
		5 意賀美神社	5 鉢ヶ峯寺

保護地域(自然公園、鳥獣保護区以外)

● 天然記念物(国・府指定)

1 和泉葛城山ブナ林
2 岬住吉神社のうばめがし社叢
3 美多弥神社のしりぶかがし社叢
4 春日神社のスタジイの社叢
5 若山神社のツブラジイ林

重点取組項目の進捗状況

生物多様性に関する国内外と大阪府の動向

世界・国内の動向		大阪府の動向	
2010年10月	生物多様性条約COP10 「愛知目標」「名古屋議定書」採択	2011年3月	「大阪21世紀の新環境総合計画」策定 生物多様性分野を生物多様性地域戦略に位置付け
2012年9月	「生物多様性国家戦略2012-2020」策定		
		2021年3月	「2030大阪府環境総合計画」策定
2021年10月	生物多様性条約COP15 第1部 「昆明宣言」採択	2022年3月	「大阪府生物多様性地域戦略」策定
		2022年7月	「おおさか生物多様性フォーラム」開催
2022年12月	生物多様性条約COP15 第2部 「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」採択		
2023年3月	「生物多様性国家戦略 2023-2030」策定	2023年4月	「おおさか生物多様性応援宣言」制度開始
		2023年6月	「大阪府特定外来生物アラートリスト」策定
2023年10月	自然共生サイト第1回認定（令和5年前期）		
2024年3月	「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」策定		
		2024年7月	「クビアカツヤカミキリ対策フォーラム」開催
		2024年10月	「堺第7-3区 共生の森」が自然共生サイトに認定
		2025年3月	「生物多様性くらしナビ まいのちosaka」開設
2025年4月	「地域生物多様性増進法」施行 自然共生サイト法制化		
		2025年6月	大阪府レッドリストの改訂着手 （第1回大阪府レッドリスト改訂検討委員会）
		2025年6月	「桜を守れ！クビアカツヤカミキリ～夏の陣～」開催
2025年7月	「ネイチャーポジティブ経済移行戦略ロードマップ」策定		
		2025年12月	「大阪府生物多様性地域戦略」中間見直しの諮問
2026年2月	生物多様性国家戦略2023-2030の実施状況の中間評価		
		2026年3月	「2030大阪府環境総合計画」改定（予定）

重点取組項目の実施状況

取組方針1 生物多様性の理解と生物多様性に資する行動の促進

1-1-1 府民等の生物多様性配慮行動の促進

- ・ まいのちosaka開設
- ・ 普及啓発資料「知ろう・伝えよう大阪の生物多様性」の改訂及び動画作成
- ・ 普及啓発イベント出展

1-1-2 「大阪生物多様性保全ネットワーク」や「おおさか生物多様性施設連絡会」等と連携した普及啓発

- ・ 生物多様性センターとフォーラム開催(保全ネットワーク)
- ・ 天王寺動物園と協働でイベント開催(施設連絡会)

1-1-3 森・里・川・海における各種プログラムの提供

- ・ 庁内施設を活用した「おおさか森里川海巡り」を予定していたが、具体的な取組なし

取組方針2 自然資本の持続可能な利用、維持・充実

2-1-1 森・里・川・海における保全・再生・創造

- ・ 里地里山等の貴重な自然環境の保全
- ・ 堺第7-3区「共生の森」の森づくり活動

2-1-2 事業者等の生物多様性保全に資する取組の促進

- ・ おおさか生物多様性応援宣言を創設
- ・ 企業向けセミナーを開催、EMIELD(株)と事業連携協定を締結

2-3-2 特定外来生物の防除

- ・ 大阪府外来生物アラートリストの作成
- ・ クビアカツヤカミキリの防除対策(フォーラム、啓発資料、捕獲イベント等)

取組方針3 生物多様性保全に資する仕組みづくりの推進

3-1-1 野生動植物のモニタリング体制の構築

- ・ 大阪府いきもの資料館を解説

3-1-2 レッドリストの改訂及び活用

- ・ レッドリストの改訂に着手

1-1-1 府民等の生物多様性配慮行動の促進

ウェブサイト「生物多様性多様性くらしナビ まいのちosaka」

“日々の暮らしの中でできる生物多様性に配慮した行動”をわかりやすく学べるサイトを開設(2025.3)

- 地産地消（大阪産（もん）の活用）や省エネ、ゴミ削減といった**身近な行動を提案**（まいのち行動）
- 生物多様性保全や配慮した行動につながる大阪府内の**施設・商品・取組を紹介**（まいのち情報）
- 府内の自然観察会などの**イベント情報を紹介**

まいのち行動（身近な行動の提案）



タグ： 自然

森林は、地球の陸地面積の約31%を占めています。しかし、世界の森林は減少を続けており、世界レベルでの大きな問題となっています。

森林の減少は、生物多様性の損失、気候変動の加速、地域の経済への悪影響など、数多くの問題を引き起こしています。

一方で、日本の森林面積は国土の3分の2に当たる約2,500万haであり、世界有数の森林国です。（大阪府の森林面積は約5万7千ヘクタールで、森林率は30%です。）

森林の資源量としては、人工林を中心に毎年約6,000万㎡増加している状況になっていて、「伐って、使って、植えて、育てる」循環利用を進めることが重要になっています。

そうした状況において、私たちは森林の減少および荒廃に歯止めをかける一方で、森からの生態系サービスの恩恵を未来でも引き続き享受できるよう、森林を適切に管理していくことが必要です。

まいのち情報（施設・商品・取組の紹介）



和菓子店が栽培した大阪産の栗でつくった栗菓子と里山保全活動



タグ： 家庭 知る

和菓子屋である津村屋では、大阪産の栗の栽培加工から栗の和菓子まで。

高齢化による担い手不足などで、激減していく栗の生産数に危機感を抱き、休耕地を栗畑に再生する取組を行っています。

店舗情報

(おおさか生物多様性応援宣言登録団体)

事業者名

御菓子司津村屋

主に扱っている商品や取組

和菓子・赤飯・もち・栗串引菓子 /大阪府能勢町にて栗栽培

所在地

大阪府吹田市昭和町14-16

Google 地図

営業時間

8時～20時

定休日

木曜日

お問い合わせ先

TEL番号：06-6381-5485

メールアドレス：info@osakamon.jp

HPリンク

HPはこちら

<https://www.osakamon.jp/>

1-1-1 府民等の生物多様性配慮行動の促進

普及啓発資料の公開

普及啓発資料「知ろう・伝えよう大阪の生物多様性」の改訂および動画作成

- ・「生物多様性の3つの階層」や「生態系サービス」など**生物多様性の基礎を解説**
- ・生態系の重要性を正しく理解し、**他者へ伝えるための学習プログラムや実践シートを用意**



目次		対象
1. 生物からの恵みと私たちの生活		
生物からの恵みと私たちの生活	2	市民・個人
生態系サービス	3	
生物多様性の保全と持続的利用に向けた世界と日本の取り組み	4	
2. 生物多様性の理解		
生物多様性の3つのレベル	7	事業者
3. 生物多様性を脅かす危機		
生物多様性の現状	9	
生態系サービスの現状	11	
生物多様性の4つの危機	12	学校
4. 生物多様性の保全に向けた取組		
生物多様性の保全に向けた取組	17	
生物多様性を守るために日常でできること	18	
生物多様性と事業活動	19	学校
事業者の取組事例	24	
学校で取り組む生物多様性保全	26	
学校での取組事例	27	
生物多様性を子どもたちに伝えよう	29	学校
5. 大阪府の自然から学ぶ生物多様性		
大阪府の自然から学ぶ生物多様性	36	

生物多様性と事業活動

私たちの生活と関わりをよりよくするには、自然環境の保全、事業活動にわたる、生物多様性への配慮が不可欠です。

事業と生物多様性の関わり

事業者は、事業活動に起因する環境への影響を減らすための取組の一つとして、生物多様性の保全にも取り組むことが求められています。事業活動による生物多様性の影響を、資源や商品の調達、建設活動、土地利用、廃棄物の処理などを通じて、生物多様性に与える影響を評価し、適切な取組を実施する必要があります。

事業活動の概要

- 事業活動地の開発などの土地利用 → 生物の生息地の改変
- 資源や商品の輸送時の移動 → 外来生物の移移、排ガスによる気候変動
- 投資 → 投資先の事業者と生物多様性との関わり

「ネイチャーポジティブ」の取組に向けて

「ネイチャーポジティブ」の実現に向けた5つの基本原則のありと、事業活動への取組のあり方を示しています。

ネイチャーポジティブとは、「自然を回復・保全・創出すること、生物多様性の保全と、気候変動対策の両立を目指す」という考え方です。気候変動対策の推進と、生物多様性の保全を同時に実現することを目指す「ネイチャーポジティブ」の取組は、世界全体の「ネイチャーポジティブ」の取組の中心となる取組です。ネイチャーポジティブの取組は、2020年以降に実施された事業活動で、13の国・地域が「ネイチャーポジティブ」の取組を実施しています。

ネイチャーポジティブの取組は、生物多様性の保全や気候変動対策の推進に貢献するだけでなく、人々の健康やウェルビーイングにも貢献します。

3億9500万人の雇用創出
年間約1,070兆円規模のビジネスチャンス

「世界経済フォーラム」(WEF) 報告書 (2020) より

ネイチャーポジティブの取組(2024年4月)

日本は、2024年4月、環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省が主催する「ネイチャーポジティブ」の取組を推進することを示しました。具体的な取組として、自然環境の保全と気候変動対策の両立を目指す「ネイチャーポジティブ」の取組を推進することです。

日本において「ネイチャーポジティブ」の取組により生じる事業活動の規模は70兆円超と見込まれています。

年47兆円

普及啓発イベントへの出展

クイズ・カルタ・マグネット魚釣りを通した外来種問題等の啓発を実施 (年7回程度)



幼児～小学校低学年が中心



釣った後は、外来種問題を易しく説明



外来生物クイズを通して、生物多様性の理解を深めていただきました



1-1-2 「大阪生物多様性保全ネットワーク」や 「おおさか生物多様性施設連絡会」等と連携した普及啓発

大阪生物多様性保全ネットワーク

教育機関・研究機関・NPO・行政で構成され、相互の連携をはかり、生物多様性の保全に向けた取り組みを行うネットワーク。（事務局：NPO法人大阪自然史センター）

- ・「おおさか生物多様性フォーラム」@大阪市立自然史博物館（2022.7 参加者：118名）

おおさか生物多様性施設連絡会

府民が自然や生き物への理解を深められるよう、**動物園、植物園、博物館、昆虫館等の施設で構成**された連絡会。（事務局：大阪府）

- ・天王寺動物園等と連携し普及啓発イベント（植樹体験・ガイドツアー）を開催（2023・2024 参加者：計414名）
- ・各施設のイベントを取りまとめたチラシ作成及び「まいのちosaka」に掲載

【天王寺動物園イベント】



動物のフンの堆肥を混ぜて、植樹体験。
植えた木は鉢植えで園内に設置。



バックヤードで、動物が生きていく
ために植物が必要という内容を説明



主な拠点施設

2-1-1 森・里・川・海における保全・再生・創造

里地里山等の貴重な自然環境の保全

(公財)大阪みどりのトラスト協会への補助を通して、府有地である**和泉葛城山ブナ林**(国天然記念物)の周辺保護樹林帯や、大阪府自然環境保全条例に基づき指定した**自然環境保全地域**(5箇所)及び**緑地環境保全地域**(2箇所)の保全活動を実施。

堺第7-3区 共生の森

平成16年より産業廃棄物処分場に自然環境を創出する取組みとして、府民・NPO・企業・行政が協働して、植樹活動を中心に森づくり活動を実施。

- ・ 府民参加による森づくりイベント(年8回程度)や**植樹祭**(年1回)を実施。
植樹祭の植栽状況 参加者:8千人 植栽本数:3万本 植栽面積:8ha
- ・ 企業参画制度として**一定区間を貸出し、森づくり活動を実施**する「企業の森づくり」制度を運用。
企業の森づくり植栽状況 参加者:5千人 植栽本数:8万本 植栽面積:9ha)
- ・ 「豊かな自然」と「継続した森づくり活動」が評価され、環境省の**自然共生サイトに認定**(2024.10)。



草刈イベント



リースづくり



第19回植樹祭(2024年3月)



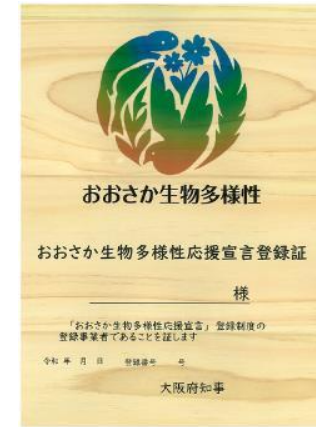
大阪製鉄(株)による森づくり

2-1-2 事業者等の生物多様性保全に資する取組の促進

おおさか生物多様性応援宣言

生物多様性保全に積極的な事業者・団体に取組みを宣言（登録）
いただき、府がPR等する制度（2023.4～登録開始）

- 89事業者、40団体（計**129**）が登録済み（2026.3時点）
- HP等でのPR、メルマガでの生物多様性に関する情報提供を実施



登録証

企業向けセミナー

企業と自然環境との関わりや、身近な一歩から始められる実践のヒントを
届ける**セミナー**を開催

第1回（2025.8）参加者127名

テーマ：生物多様性への取り組みから企業価値を創る

登壇者：サラヤ（株）、山形開発工業（株）など

第2回（2026.3）参加者109名

テーマ：自然共生サイトを通じた企業と地域の接点

登壇者：エスペック（株）、御菓子司津村屋 など



サラヤ(株)よりサプライチェーン配慮事例を紹介

企業連携

EMIELD（株）と事業連携協定を締結（2025.12）

【協定事項】**ネイチャーポジティブに係る企業の取組支援**

- セミナー、ワークショップの開催
- 生物多様性保全活動マッチングの広報
- 堺第7-3区 共生の森等における保全活動のサポート



協定締結式

2-3-2 特定外来生物の防除

大阪府特定外来生物アラートリスト

府内で確認されている特定外来生物の生態系等への影響や分布状況等を示した資料（2023.6 作成）

- 掲載種数 34種（条件付特定外来生物を含む）
- 分布拡大状況を踏まえ、随時更新予定

1. アライグマ
原産：北アメリカ～中央アメリカ

どんな生き物？
健康被害 0.0
農林水産業被害 0.0
生態系被害 0.0

どんな影響？

見つけたらどうすればいいの？

もっと詳しく教えて！

クビアカツヤカミキリ対策

普及啓発チラシ

2024.6作成

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」侵食中！

大阪府

桜が枯れてしまう

花見が中止になるかも!!

マジ？!!

ムリ！

OSAKA

施設管理者向けフォーラム

2024.7開催

参加者 130名



パネルディスカッション



防除資材の紹介

サクラを守れ！クビアカツヤカミキリ～夏の陣～

府民参加型の捕獲イベント（2025.5～9 開催）

- 捕獲数競争（約3,300匹捕獲）
- 大会（8か所 参加者数 220名）
捕獲や卵探し、講習会、標本作成を実施



捕獲



標本作成

3-1-1 野生動植物のモニタリング体制の構築

大阪府いきもの資料館

府HP上で、行政・研究機関等が作成する府内の生き物や自然に関するリーフレット・冊子及び各種調査資料リストを公表（2023.9 公開）

- リーフレット・冊子53点、調査資料57点を紹介
- 学校教育、自然観察、学術研究等での活用を想定し、随時更新



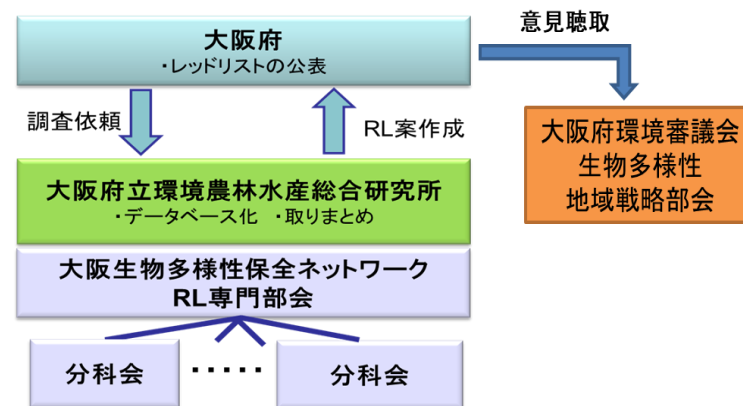
3-1-2 レッドリストの改訂及び活用

大阪府レッドリスト

2025~2027年度の3か年をかけてレッドリストを改訂

- レッドリスト掲載種の選定は、大阪生物多様性保全ネットワーク内のRL専門部会にて実施
- リスト作成の根拠となる資料はデータベースとして整理
- 改訂版のリストは、生息地保全のための行政施策への活用を検討

【改訂の体制】



※「大阪生物多様性保全ネットワーク」

生物多様性に関する博物館や大学、NPO、行政等による団体で構成
RL専門部会は各生物分類群の専門家で構成